

ログイン日時：2021年01月04日 00時18分50秒 | 文 景楠（教員）

[×ログアウト](#)

## シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

## シラバス情報

## 授業情報

|             |   |          |      |
|-------------|---|----------|------|
| 授業コード       | 3132551000  | 開講キャンパス  | 泉    |
| 授業開講年度      | 2021年度  |          |      |
| 科目コード       | 5102129919  | 科目分類     | 専門科目 |
| 科目名称        | 原典講読 A  |          |      |
| 科目英字名称      | Reading of Original Texts A   |          |      |
| 単位数         | 1.0   |          |      |
| 履修期         | 前期授業  | 抽選対象     | 対象外  |
| 代表教員番号      | 2024295   | シラバス投稿状況 | 投稿完了 |
| 担当者         | 巖谷 睦月   |          |      |
| テーマ         | 『グローヴ世界美術大事典』の記述から学ぶ美術とその歴史   |          |      |
| 講義内容        | <p>事典は、ある物事についての全般的な知識をまとめた形で得ようとする人にとって、よい味方となる。この講義では、世界の美術について幅広い事象をカヴァーした事典として知られる、グローヴ社の The Dictionary of Art（全34巻）を繙き、その内容から美術とその歴史についての理解を深めてゆく。事典の中から、英語の美術史文献を読みとく前提として知っておきたい言葉をいくつかとりあげ、それぞれの項目の概要を理解した上で、指定された項目については、より専門的な内容の記述を読み進める。</p> <p>なお、本講義は対面形式でおこなう予定である。</p> |          |      |
| 達成目標        | <p>1) 美術という専門分野に特化した英語の事典にふれ、その活用の仕方を理解する。</p> <p>2) 英語の美術史文献の理解のためにしばしば必要になる、前提として知っておきたい言葉の意味の基本を英語で学ぶ。</p> <p>3) 美術史で扱われる言葉の専門的な説明記述を英語で読み、理解する。</p>   |          |      |
| 授業計画<br>第1回 | <p>【事前学修】このシラバスをよく読む。</p> <p>【授業内容】授業内容および事典とその使い方について解説する。関連する課題を配布する。</p> <p>【事後学修】配布されたテキストのうち、指定された項目の一部を読む。</p>  |          |      |
| 授業計画<br>第2回 | <p>【事前学修】第1回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第1回の授業で指定された項目について、理解度を確認する。必要に応じて例示しながら解説する。</p> <p>【事後学修】第2回の授業で指定された項目の一部を読む。</p>  |          |      |

|              |  |
|--------------|--|
| 授業計画<br>第3回  | <p>【事前学修】第2回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第2回の授業で指定された項目について、理解度を確認する。必要に応じて例示しながら解説する。</p> <p>【事後学修】第3回の授業で指定された項目の一部を読む。</p>                           |
| 授業計画<br>第4回  | <p>【事前学修】第3回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第3回の授業で指定された項目について、理解度を確認する。必要に応じて例示しながら解説する。</p> <p>【事後学修】第4回の授業で指定された項目の一部を読む。</p>                           |
| 授業計画<br>第5回  | <p>【事前学修】第4回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第4回の授業で指定された項目について、理解度を確認する。必要に応じて例示しながら解説する。今後読んでみたい項目について考える。</p> <p>【事後学修】第5回の授業で指定された項目の一部を読む。</p>         |
| 授業計画<br>第6回  | <p>【事前学修】第5回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第5回の授業で指定された項目について、理解度を確認する。必要に応じて例示しながら解説する。</p> <p>【事後学修】第6回の授業で指定された項目の一部を読む。</p>                           |
| 授業計画<br>第7回  | <p>【事前学修】第6回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第6回の授業で指定された項目について、理解度を確認する。必要に応じて例示しながら解説する。</p> <p>【事後学修】第7回の授業で指定された項目の一部を読む。</p>                           |
| 授業計画<br>第8回  | <p>【事前学修】第7回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第7回の授業で指定された項目について、理解度を確認する。必要に応じて例示しながら解説する。</p> <p>【事後学修】第8回の授業の授業で指定された項目の一部を読む。</p>                        |
| 授業計画<br>第9回  | <p>【事前学修】第8回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第8回の授業で指定された項目について、理解度を確認する。必要に応じて例示しながら解説する。</p> <p>【事後学修】これまでに学んだ美術に関する言葉の全てを確認する。</p>                       |
| 授業計画<br>第10回 | <p>【事前学修】これまでに学んだ美術に関する言葉の全てについて復習しておく。</p> <p>【授業内容】これまでに学んだ美術に関する言葉の全てについて確認テストをおこなう。次回から扱う項目とその記述について解説する。</p> <p>【事後学修】第10回の授業で指定された項目の記述を読み進める。</p> |
| 授業計画<br>第11回 | <p>【事前学修】第10回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第10回の授業で指定された記述についての理解度を確認する。内容について考える。</p> <p>【事後学修】第11回の授業で指定された項目の記述を読み進める。</p>                            |
| 授業計画<br>第12回 | <p>【事前学修】第11回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第11回の授業で指定された記述についての理解度を確認する。内容について考える。</p> <p>【事後学修】第12回の授業で指定された項目の記述を読み進める。</p>                            |
| 授業計画<br>第13回 | <p>【事前学修】第12回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第12回の授業で指定された記述についての理解度を確認する。内容について考える。</p> <p>【事後学修】第13回の授業で指定された項目の記述を読み進める。</p>                            |

|              |   |
|--------------|---|
| 授業計画<br>第14回 | <p>【事前学修】第13回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第13回の授業で指定された記述についての理解度を確認する。内容について考える。</p> <p>【事後学修】これまでの授業で読んだ記述の全てについて確認しておく。</p>                         |
| 授業計画<br>第15回 | <p>【事前学修】これまでの授業で読んだ記述の全てについて復習しておく。</p> <p>【授業内容】記事の内容をふまえた確認テストをおこなう。記事の内容をふまえて、芸術作品について考える。</p> <p>【事後学修】これまでの授業内容全体を整理してまとめる。</p>                   |
| 授業計画<br>第16回 |   |
| 授業計画<br>第17回 |   |
| 授業計画<br>第18回 |   |
| 授業計画<br>第19回 |   |
| 授業計画<br>第20回 |   |
| 授業計画<br>第21回 |   |
| 授業計画<br>第22回 |   |
| 授業計画<br>第23回 |   |
| 授業計画<br>第24回 |   |
| 授業計画<br>第25回 |   |
| 授業計画<br>第26回 |   |
| 授業計画<br>第27回 |   |
| 授業計画<br>第28回 |   |
| 授業計画<br>第29回 |   |
| 授業計画<br>第30回 |   |
| 成績評価方法       | <p>第1回・第10回・第15回を除く各回の事前学習状況の確認：2点<br/>×12 = 24点（出席確認の小テスト）</p> <p>第10回・第15回の確認テスト：20点×2 = 40点</p> <p>授業への貢献（事後学習で提出する訳文提出課題全12回）：3点×12<br/>回 = 36点</p> |

|                         |  |     |  |
|-------------------------|--|-----|--|
|                         | 具体的な評価基準は、授業時に公開する。  |     |  |
| 学修に必要な準備                | わからない英単語は辞書で引いておくこと。知らない固有名詞については調べておくこと。より深く学びたい場合は、扱う項目内で示された関連項目を自力で引いて、その概要を理解しておくこと。  |     |  |
| 関連して受講することが望ましい科目       | 特になし。  |     |  |
| テキスト                    | 第1回以降の各回および、項目の希望をきいた第5回以降に配布します。  |     |  |
| 参考文献                    | 必要があれば授業内で指示します。   |     |  |
| 履修上の注意                  | 辞書は毎回持ってくること。<br>この事典は日本語の訳本が存在しません。英文として特別に難解ではありませんが、「芸術」全般に関する事典ですので、項目によっては見慣れないものもあるでしょう。「芸術」に多少なりとも興味のある人向けです。<br>単語はその一つ一つが多くの意味を含んでいます。その文脈でその単語がどういう意味で使用されているかをよく考えましょう。<br>オフィスアワーは授業内で指示します。 |     |  |
| カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連 | この科目とディプロマ・ポリシーとの関係については、学科の「カリキュラムマップ」を参照のこと。<br>【アクティブラーニング科目】 【双方向型授業】  |     |  |
| 添付ファイル1                 |  | 説明1 |  |
| 添付ファイル2                 |  | 説明2 |  |
| 添付ファイル3                 |  | 説明3 |  |
| 添付ファイル4                 |  | 説明4 |  |
| 添付ファイル5                 |  | 説明5 |  |
| 関連URL1                  |  |     |  |
| 関連URL2                  |  |     |  |
| 関連URL3                  |  |     |  |

## 教室情報

| 項番 | 履修年度   | 開講期  | 曜時     | 使用開講期 | 教室           |
|----|--------|------|--------|-------|--------------|
| 1  | 2021年度 | 前期授業 | 木曜 2校時 | 前期授業  | 泉) 3 1 H 講義室 |

## カリキュラム情報

| 項番 | 学生区分 | 所属区分 | 学部   | 学科     | 専攻・コース | 適用入学年度        |
|----|------|------|------|--------|--------|---------------|
| 1  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 |        | 2011年度～2011年度 |
| 2  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 |        | 2012年度～2012年度 |
| 3  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 |        | 2013年度～2014年度 |
| 4  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 |        | 2015年度～2016年度 |

|    |     |     |      |        |          |               |
|----|-----|-----|------|--------|----------|---------------|
| 5  | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 |          | 2015年度～2018年度 |
| 6  | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 |          | 2017年度～2018年度 |
| 7  | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 |          | 2019年度～2019年度 |
| 8  | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 |          | 2019年度～2100年度 |
| 9  | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 |          | 2020年度～2100年度 |
| 10 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース  | 2011年度～2011年度 |
| 11 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース  | 2012年度～2012年度 |
| 12 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース  | 2013年度～2014年度 |
| 13 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース  | 2015年度～2016年度 |
| 14 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース  | 2015年度～2018年度 |
| 15 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース  | 2017年度～2018年度 |
| 16 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース  | 2019年度～2019年度 |
| 17 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース  | 2019年度～2100年度 |
| 18 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース  | 2020年度～2100年度 |
| 19 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース | 2011年度～2011年度 |
| 20 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース | 2012年度～2012年度 |
| 21 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース | 2013年度～2014年度 |
| 22 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース | 2015年度～2016年度 |
| 23 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース | 2015年度～2018年度 |
| 24 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース | 2017年度～2018年度 |
| 25 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース | 2019年度～2019年度 |

|    |     |     |             |        |              |                   |
|----|-----|-----|-------------|--------|--------------|-------------------|
| 26 | 学部生 | 学部生 | 教養学部<br>ス   | 言語文化学科 | フランス語コー<br>ス | 2019年度～2100年<br>度 |
| 27 | 学部生 | 学部生 | 教養学部<br>ス   | 言語文化学科 | フランス語コー<br>ス | 2020年度～2100年<br>度 |
| 28 | 学部生 | 学部生 | 教養学部        | 言語文化学科 | 中国語コース       | 2011年度～2011年<br>度 |
| 29 | 学部生 | 学部生 | 教養学部        | 言語文化学科 | 中国語コース       | 2012年度～2012年<br>度 |
| 30 | 学部生 | 学部生 | 教養学部        | 言語文化学科 | 中国語コース       | 2013年度～2014年<br>度 |
| 31 | 学部生 | 学部生 | 教養学部        | 言語文化学科 | 中国語コース       | 2015年度～2016年<br>度 |
| 32 | 学部生 | 学部生 | 教養学部        | 言語文化学科 | 中国語コース       | 2015年度～2018年<br>度 |
| 33 | 学部生 | 学部生 | 教養学部        | 言語文化学科 | 中国語コース       | 2017年度～2018年<br>度 |
| 34 | 学部生 | 学部生 | 教養学部        | 言語文化学科 | 中国語コース       | 2019年度～2019年<br>度 |
| 35 | 学部生 | 学部生 | 教養学部        | 言語文化学科 | 中国語コース       | 2019年度～2100年<br>度 |
| 36 | 学部生 | 学部生 | 教養学部        | 言語文化学科 | 中国語コース       | 2020年度～2100年<br>度 |
| 37 | 学部生 | 学部生 | 教養学部<br>コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語       | 2011年度～2011年<br>度 |
| 38 | 学部生 | 学部生 | 教養学部<br>コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語       | 2012年度～2012年<br>度 |
| 39 | 学部生 | 学部生 | 教養学部<br>コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語       | 2013年度～2014年<br>度 |
| 40 | 学部生 | 学部生 | 教養学部<br>コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語       | 2015年度～2016年<br>度 |
| 41 | 学部生 | 学部生 | 教養学部<br>コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語       | 2015年度～2018年<br>度 |
| 42 | 学部生 | 学部生 | 教養学部<br>コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語       | 2017年度～2018年<br>度 |
| 43 | 学部生 | 学部生 | 教養学部<br>コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語       | 2019年度～2019年<br>度 |
| 44 | 学部生 | 学部生 | 教養学部<br>コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語       | 2019年度～2100年<br>度 |
| 45 | 学部生 | 学部生 | 教養学部<br>コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語       | 2020年度～2100年<br>度 |

[戻る\(X\)](#)

Copyright(C) TOHOKU GAKUIN All Rights Reserved.